

育児、家事、仕事、ADHD 妻のサポート等のリアルエピソードを語ります



鮎川 ヒロアキ

* 元お笑い芸人／心理カウンセラー

* 「中高年のひきこもり」相談員

■プロフィール

1977 年生まれ。大阪府出身。1997 年お笑いの学校を卒業。20 代の頃父親が他界したことを契機に多額の負債を抱え極貧生活をおくる。2013 年心理カウンセラー資格取得。

ゲートキーパーについての講演や、「境界性パーソナリティ障害」の家族会での講演・質疑応答など重くなりがちなテーマも、テンポよく語り「とても聞きやすい」と好評を得ている。また、妻が精神障害 2 級であるため家族で病を乗り越えてきた生活感のあるエピソードを展開。心の病を抱えた方、心の病を持つ方をサポートする方、両方の立場に立った講演が好評を得ている。

幼い子供二人の父として、ワンオペ育児に奮闘中。大阪府大東市にある NPO 法人「セーフティネットワークおおさか」にて中高年のひきこもりの相談員を務める。その他、医療系大学の学生を対象に「心の病を持った方への接し方のヒント」など、幅広い活動を行っている。また、心理カウンセラーとしても「寄り添う」をモットーに、これまで多くの方のカウンセリングを実施している。

会場の雰囲気 会場の雰囲気が重くなりすぎないように、また、最後まで興味を持って聞いてもらえる講演を心掛けている。

■主なメディア出演

- ・ 日本テレビ「エンタの神様」
- ・ NHK E テレ「バリバラ」
- ・ NHK ハートフォーラム「境界性パーソナリティ障害」
- ・ BPD（境界性パーソナリティ障害）家族会に講師として参加
- ・ 中高年のひきこもり「つどいの広場」YouTube ライブを毎月開催
- ・ 不定期でメンタルに関する自主トークライブを開催
- ・ ゲートキーパー、自殺対策について様々な自治体で講演
(愛知県小牧市、北海道千歳市、兵庫県豊岡市、滋賀人権啓発企業連絡会、京都市北区民生児童委員)

主な講演テーマ

1. “生きる”を支え、寄り添うということ
2. カウンセラー芸人～心の病を抱えた妻との泣き笑い生活～

私は、10 年来、心の病を抱えた妻と生活しています。また、様々な活動をする中で、妻をはじめ、心の病を持った方々と縁する機会が多くあり、心理カウンセラーの資格を取得するに到りました。その中で培ってきたものを還元したい。心の病を持った当事者の苦しみがクローズアップされがちですが、支える家族も十分に苦しんでいるのが現状なのではないでしょうか。

また、2004 年に父が亡くなった事で、多額の借金を背負うことに。妻の心の病、経済苦の中で、お笑い、結婚、2 度の流産、子の誕生等、様々な事を経験させて頂きました。どうしても重くなりがちな話題。避けて通れない問題を前にして、それでも生きていかなければならない。

私も「支える側の当事者」として今日まで四苦八苦しながら生きてきました。

お笑い芸人でありながら、心理カウンセラーの資格を持つ私が、心の病を持つ妻との生活の中で得た「接し方」を講演の中で笑いも交えながらお伝え出来ればと思います。

心の病の「当事者」にどう接すれば良いか？

逆境の中でも夢を持ち、生き抜いていく事は出来るのか？？

皆様にとって心が軽くなるヒントになれば幸いです。